

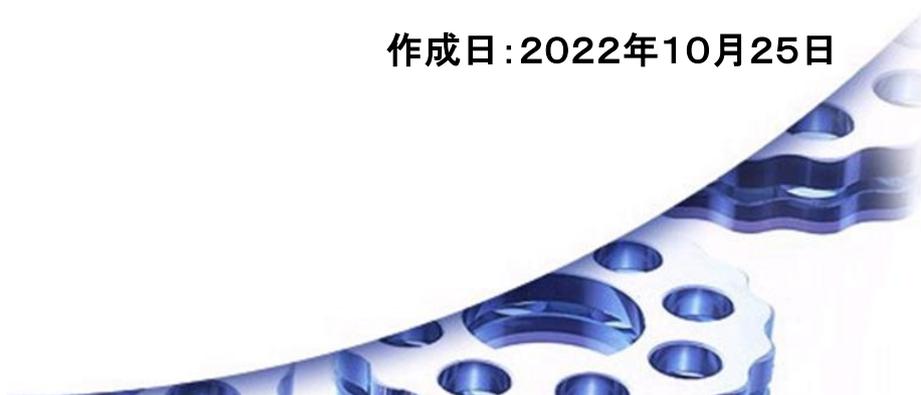
環境活動レポート

(期間 2021年9月～2022年8月)



広和機工株式会社

作成日：2022年10月25日



広和機工株式会社

環境方針

《基本理念》

私たちは、ますます深刻化する地球温暖化への対応や、有限である資源の有効利用が人類共通の最重要命題であり普遍のテーマであると考えています。

産業機械・設備の要である変・減速機・制御機器の販売とメンテナンスを主体とした事業活動を通じて、省資源、廃棄物の抑制等、環境にやさしい企業活動を継続して行なうことを約束します。

《行動指針》

(1) 私たちは、以下の行動指針に基づき、全社員が環境に配慮した環境保全活動を行ないます。

- ① 事業活動から生じる電力・自動車燃料の消費に伴うCO₂排出量の抑制に取り組みます。
- ② 事業活動における原材料の省資源、水使用量の削減、有害な化学物質の削減に取り組みます。
- ③ 環境に関連する法規制・地域条例及び自主的な基準の要求事項を明確にして遵守します。
- ④ 廃棄物の削減及び分別等によるリユース・リサイクルの推進を行ないます。
- ⑤ 会社周辺の環境保全、清掃活動を行ないます。
- ⑥ 省力化・人手不足を補う製品の販売、提案を通して環境、社会に貢献する活動を行います。

(2) 環境指針は、全社員に周知を図り、社会情勢や環境の変化に応じて見直しを行ないます。

私たちの環境方針は、広く一般の人が閲覧・入手可能なように公開します。

令和2年11月6日
広和機工株式会社
代表取締役 川添貴史

【組織の概要】

(1) 名称及び代表者名

広和機工株式会社

代表取締役社長 川添貴史

(2) 所在地

本社 広島県廿日市市木材港北3番47号

宇部事業所 山口県宇部市大字棚井字門田501-5

広島営業所 広島県広島市佐伯区八幡東四丁目31番11号

南九州事業所 熊本県八代市古閑浜町西割2683-1

(3) 環境管理責任者氏名及び連絡先

環境管理責任者 向井秀城

連絡先 環境事務局 中村貴恵 嶋本博之

TEL 0829-32-3201 FAX 0829-32-3204

(4) 事業内容

主要製品: 変減速機・モーター・ブロワー・油圧モータ

(5) 事業の規模

売上高 2,318 百万円/年 (2021年9月～2022年8月)

(内サービス売上高 527百万)

	本社	宇部事業所	広島営業所	南九州事業所	計
従業員	35 人	11 人	1 人	6 人	53 人
延べ床面積	2,429 m ²	699 m ²	30 m ²	207 m ²	3,365 m ²

(6) 事業年度 9月～8月

(7) 認定・許可事項(令和4年10月現在)

【本社】建設業許可 国土交通大臣 許可(般-3)第24251号 機械器具設置工事業

【広島営業所】ひろしまエコ事業所認定

【認証・登録の対象組織・活動】

登録組織名 広和機工株式会社

関連事業所 宇部事業所

広島営業所

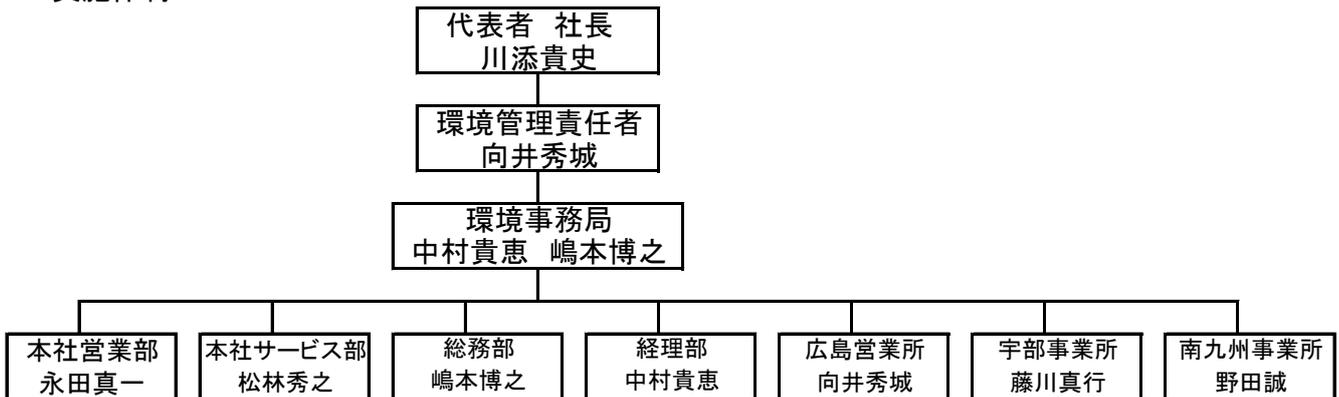
南九州事業所 (2020年6月～中間審査追加認定)

活動 変減速機等の一般機械機器の卸売及び関連商品の修理



実施体制図及び役割・責任・権限表

1. 実施体制



2. 役割・責任権限表

役割・責任・権限	
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 環境管理責任者を任命 経営における課題とチャンスの明確化 環境経営方針の策定見直し及び全従業員へ周知 環境経営目標環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規制等の取りまとめ表を承認 環境経営目標、環境経営計画書を確認 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括 環境経営計画の実施結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境経営計画の実績集計 環境関連法規制等取りまとめ表の作成、遵守評価の実施 環境教育訓練計画の作成と実施の管理 環境経営レポートの作成、公開(事務所への備付けと地域事務局への送付)
環境推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営目標、環境経営計画案の審議 環境経営の実施状況の評価、見直し 環境教育の内容検討、実施結果の評価 特定された項目の手順書作成(緊急事態への対応を含む)
部門長(部長、工場長)	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営システムの実施 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境経営の実施及び達成状況の報告 特定された項目の運用管理 自部門の環境上の緊急事態の想定と対応手順のテスト、訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的積極的に環境活動へ参加

【環境目標とその実績】

(1)環境目標 ☆中期目標値☆

項目		年度 単位	2020年度 基準値(実績)	2021年度 目標	2022年度 目標	2023年度 目標
《二酸化炭素排出量》						
総排出量 ※1			107,103	106,358	105,288	104,219
目標削減率(プロパンガスを除く)				-1.0%	-2.0%	-3.0%
電気使用量	CO2使用量	Kg-CO2	40,605	40,199	39,793	39,387
ガソリン使用量			33,883	33,544	33,205	32,867
軽油使用量			32,483	32,483	32,158	31,833
プロパンガス使用量			132	132	132	132
車両燃費改善	燃費目標	ガソリン	—	1%改善	2%改善	3%改善
		軽油	—	前年実績を下回らない	前年実績を下回らない	前年実績を下回らない
		km/ℓ	17.70	17.88	18.05	18.23
		km/ℓ	8.38	8.38	8.38	8.38
《廃棄物排出量削減》						
一般廃棄物	原単位目標 対前年比 △1%	kg/人	133.3	132.0	130.6	129.3
産業廃棄物	前年実績を下回らない	kg	19,463	19,463	19,463	19,463
《排水量削減》						
水道水	前年実績を下回らない	m ³	395	395	395	395
《社会貢献活動》	会社周辺の清掃			定期的な清掃	定期的な清掃	定期的な清掃
	献血活動の実施		—	年1回献血	年1回献血	年1回献血
	エコキャップ回収し、寄付			年1回以上	年1回以上	年1回以上
《化学物質削減》	取扱い使用量が微量のため削減は難しいが削減目標は目安とする	kg	0.36	0.36	0.36	0.36
			—	適正に管理 使用確認	適正に管理 使用確認	適正に管理 使用確認
《自らの事業活動による環境への取組》	旧型使用客先から高効率モーターへの切替促進活動	台	—	年150台更新切替	年150台更新切替	年150台更新切替
	環境配慮製品の拡販 協働ロボットの拡販			年12台販売	年12台販売	年12台販売

注記)

※1 目標としての二酸化炭素総排出量は、電力と自動車燃料、プロパンガスを対象とした数値

※2 電力二酸化炭素排出係数は調整後排出係数の 中国電力 0.694kg-CO₂/kWh、リコー 0.359kg-CO₂/kWh、ミツウロコ 0.493kg-CO₂/kWh を使用しています。

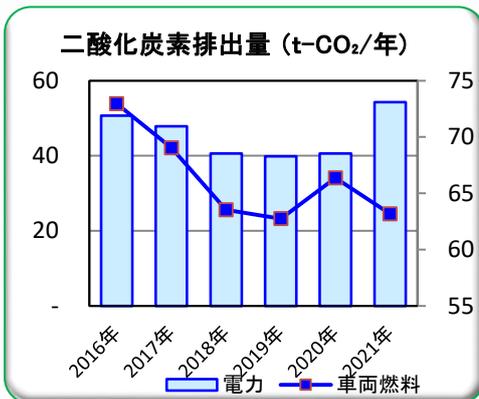
※3 「自らの事業活動による環境への取組」については今後IE3モーターは必要項目となるため、2014年度からは『旧型使用先から高効率モーターへの切替促進活動』として活動を致します。

※4 上記※3の取組は、2019年度から協働ロボットの拡販として行います。(12台/年)

【環境目標とその実績】

(1)2021年度 環境目標達成状況

項目	単位	年度		評価			
		2020年度 基準年(実績)	2021年度 目標		2021年度 実績		
二酸化炭素排出量	電力の削減	使用量	kWh/年	86,362	—	116,548	×
		CO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /年	40,605	40,199	54,306	
	車両燃料の削減	使用量	ℓ/年	27,194.9	—	25,810.8	△
		CO ₂ 排出量	ガソリン	kg-CO ₂ /年	33,883	33,544	
	軽油		32,483		32,483	32,778	
	ガソリン車、軽油車燃費改善	燃費	ガソリン	km/ℓ	17.70	17.88	17.91
軽油			8.38		前年実績を下回らない	8.36	



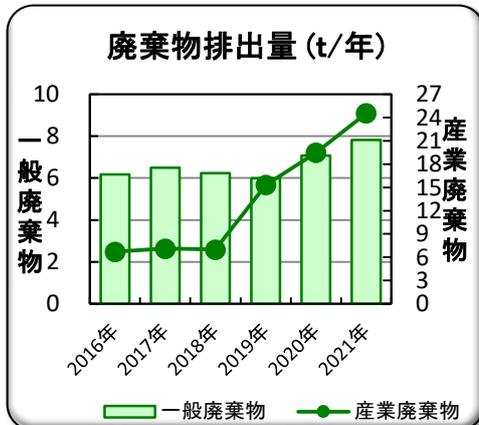
二酸化炭素排出量年度推移表(単位 : kg-CO₂/年)

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
電力	50,701	47,841	40,659	39,876	40,605	54,308
車両燃料	72,969	69,041	63,538	62,747	66,366	63,184
その他の燃料(ガス)を含めた総量						117,594

主な要因

☆電力について本社新工場にエアコン設置、使用量が増加した上に新型コロナウイルス感染の対応として換気を行いながらのエアコン使用により総使用量が大幅に増えた

項目	単位	年度		評価		
		2020年度 基準年(実績)	2021年度 目標		2021年度 実績	
一般廃棄物の削減	廃棄量	kg	7,065	—	7,820	×
	原単位	kg/社員数	133.3	132.0以下	147.5	
産業廃棄物の削減	廃棄量	kg	19,463	19,463以下	24,525	×
	有価排出量	kg	43,758	—	50,005	



年度推移表(単位 : kg/年)

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
一般廃棄物	6,180	6,500	6,240	5,995	7,065	7,820
産業廃棄物	6,703	7,113	6,992	15,308	19,463	24,525

主な要因

☆本社移転による廃棄物が増加要因の一つとなった。特に書庫の整理のため機密文書を有価ではなく産廃扱いでの処分となり増加した

【環境目標とその実績】

(1)2021年度 環境目標達成状況

項目	単位	年度			評価	
		2020年度 実績	2021年度 目標	2021年度 実績		
《排水量削減》						
水道水の削減	年間使用量が極端に少ないため、適正な使用量管理(定性的)と使用量把握を目標とする		適正管理と使用量把握	適正管理と使用量把握	適正管理と使用量把握	○
《社会貢献活動》						
	会社周辺の清掃		定期的実施	定期的な清掃	定期的実施	△
	献血活動の実施		新型コロナのため延期	年1回献血	新型コロナのため延期	
	エコキャップ回収し、寄付		1回/年	年1回以上	1回/年	
《自らの事業活動による環境への取組》						
環境配慮製品の拡販	旧型使用客先から高効率モーターへの切替	台/年	—	年間更新150台切替	年間更新689台切替	○
	協働ロボットの拡販活動	台/年	—	12台以上	0台	×
《化学物質削減》						
	取扱い使用量が微量のため削減は難しいが適正に使用管理、定期的な確認を行う		適正に管理使用を確認	適正に管理使用を確認	適正に管理使用を確認	○
《LPG使用量の削減》	年間使用量が少量のため適正に管理/使用量を把握することを目標とし、具体的削減目標は設定しない。					

全体清掃本社



【環境活動の取組計画と評価並びに次年度の環境目標及び環境活動計画】

次年度の環境目標は、前述環境中期目標2022年度通りとする

取組計画	評価(結果と次年度の環境活動計画(取組み))
二酸化炭素排出量削減 (kg-CO ₂ /年)	【総評】 大きな要因であるコロナ禍の影響が昨年から続きCO ₂ 削減目標は未達であったが、車両燃費に関しては定期的にエコ運転の呼びかけを行い社員一人一人の意識改革に繋がっていると思われる。今後取組を継続していくことにより成果が現れることを期待する。
電力の削減(kg-CO₂/年) ①空調用フィルターの定期的な清掃 ②エアコン設定(冷房28℃、暖房20℃) ③水曜日6時半退社 ④不要な電気の消灯	目標は未達に終わった。 今年もまだ新型コロナウイルスの影響が大きくエアコン推奨温度での設定は中々し辛い状況で使用量が増加した。その上、本社新工場へエアコン設置に伴い大幅に使用量が増えた。そんな中、取組に掲げている週一回の定時退社は繁忙期以外は各所属長からの指導も進み周知実施できるようになっている。来期は新社屋へ設置された太陽光発電システムでの使用電力を賄える予定であり結果を期待したい。
自動車燃料の削減(kg-CO₂/年) ①車両点検(5S委員監査)の実施 ②エコカーへの切替推奨 ③安全運転・エコ運転に関する講習実施 ④適切な日常車両点検、運行	車両点検マニュアル作成し定期的な監査やエコ運転の周知により燃費の向上にも効果が表れており燃費改善ができた。今年は、本社移転により時間もなく全社員に対してDVDによる安全運転講習鑑賞を行うことが出来なかったが、毎月の全体朝礼では交通安全運転管理者が交通安全や法改正について案内啓発を行った。ガソリン車に対しては更新該当車両毎にエコカー切替検討、現在半導体不足により納期不確定なため前倒しで切替手続き実施検討。
一般廃棄物の削減(kg/年) 分別後指定処分先での廃棄処分、有価物への転換	目標は未達であった。日常業務での削減取組(集約コピー等)の意識は浸透しており分別処分はできているが、有価物として処分できない地域もあり削減が難しい。今後も削減のための意識向上と分別処分徹底を事務局より発信していく。
産業廃棄物の削減(kg/年) 管理区画に保管し、契約業者で適正処分を行う	目標は未達であった。 以前からの要因である製品の梱包材の廃棄が多く占めるが再利用の難しい状況で現状対応の仕様が無いのが問題である。また本社新社屋建設に絡み片付けに伴い処分量が増加したことも原因の一つである。今後も廃棄物管理については適正に行い処分をす
水道水の削減(m³/年) ①節水シールの貼付とポスター掲示 ②節水の周知徹底	年間使用量が極端に少ないため、適正な使用量管理(定性的)と使用量把握を目標とし、管理、使用量の把握に努めた。
社会貢献活動 ①会社周辺の年3回の清掃 ②年一回の献血 ③エコキャップ回収し、寄付	定期的に会社周辺清掃活動実施。今年の献血活動も昨年に続き新型コロナの影響で中止延期となった。今後感染状況が落ち着き活動可能になればまた地域貢献の一環として実施したい。
製品への環境配慮 高効率モータ付減速機の販売	各営業マンの注力により目標は達成。今後も各取引先での認知を広め、高効率モーターを拡販し地球環境に優しい産業界に貢献したい。
化学物質の削減 法令管理者を選任し、適正管理を行う	本社では旧工場を整理したため一時的に増加したが他拠点共々適正に管理し保管している。

【各活動風景】

火災訓練(南九州)



油漏れ対応訓練(宇部)



太陽光発電設備設置(本社)※自家発によるCO₂削減対策



【環境関連法規の遵守状況】

当社に適用される環境関連法規は下表のとおりであり、これら法規への違反はありません。
また、苦情もありませんでした。
なお、訴訟および関係当局より違反等の指摘も、過去3年間ありません。

適用される法規制	適用される事項	評価
廃棄物処理法	一般・産業廃棄物の適正処理委託	違反なし
フロン排出抑制法	定期点検実施、現状以上無し	違反なし
騒音規制法	設置機器等の届出	違反なし
振動規制法	特定施設の届出で、基準の順守	違反なし
浄化槽法	届出および定期点検	違反なし
消防法	潤滑油・灯油適正管理	違反なし
道路交通法	社用車20台以上を使用	違反なし

【代表者による評価】

未だコロナ感染症により通常の世界活動や営業活動に影響が出るなど、55期においても社会貢献活動の一環として日本赤十字社と連携し献血活動を行ってきましたが、今回も延期せざるを得ない状況になりました。また、産業廃棄物も一時的に本社工場・事務所の移転に伴い増加傾向となりましたが、処理業者に対しては適切に処理をするよう指示の周知徹底を図り法令違反などはありませんでした。来期は新社屋に出力55KWのソーラーパネルを新設し工場及び事務所の電力負荷低減を期待するところです。会社としては今後も環境負荷低減はもとより、SDGs8:「働きがいも経済成長も」を目標として働きがいのある環境作りを目指していきたいと考えております。

2022年10月20日
広和機工株式会社
代表取締役 川添貴史

